

## 2019年度第2回価格審査会の開催について

2019年度第2回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	2019年5月15日(水) 10:00 ~ 11:30
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室
委 員	田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長 江川 浩 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 関口 司 東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長 柳 泰彦 株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部 部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：品川 広志 第二土木調査部 部長：原田 邦裕、課長：島野 誠司 建築調査部 部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一 監査審査室 室長：後藤 裕 調査統括部(事務局) 部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2019年度第1回価格審査会議事録(案) 確認

2019年度第2回価格審査会審議資料説明

### 審議資料の説明

#### 1. 「建設物価」6月号、「Web建設物価」6月号の価格動向

- 価格が上昇した資材は、異形棒鋼【SD345・SD390】（北海道の各都市）、レディーミクストコンクリート（中標準、津A・B、京丹後、山口A・B、防府、柳井、周南）、コンクリート用骨材（留萌）、ストレートアスファルト・アスファルト乳剤（那覇）、遠心力鉄筋コンクリート管（岡山）、燃料油【軽油ローリー渡し】（全都市）、ガス【ヘリウム（ボンベ）】（大阪、広島、那覇）、鉄スクラップ【ステンレス】（東北、九州、沖縄除く各都市）などであることを説明。
- 価格が下落した資材は、伸銅品（全都市）、電気用裸導線（全都市）、鉄スクラップ【鉄】（全都市）、非鉄スクラップ【銅】（東京、大阪、広島、高松、福岡、那覇）などであることを説明。

#### 2. 注目資材

- 燃料油【東京】

#### 3. 比較資料

- 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	生コンの調査は代表規格を調べてその結果を他の規格に反映させていると以前聞いたが、代表規格は地区によって異なるのか。	地区毎に代表規格（ベースサイズ）は異なっている。
審議 2	生コン価格が10,000円の甲府地区で、協組が1月に販売価格を13,500円に値上げすると強気の表明をした理由は、今後予定されているリニア関連工事が背景にあるためか。	員外社の影響などで周辺地区より安値であった甲府地区では、昨年、員外社2社が協組に加わり協組の結束力が以前より高まっている。こうしたなか、協組は出荷量減少に伴う固定費率の上昇などを理由に1月から値上げを打ち出し、リニア関連工事が本格化する前に市況を立て直したいとしている。
審議 3	複数のゼネコンから大阪地区の協組が4月から値上げをすると聞いたが、どのような状況か。	大阪広域協組は4月に大阪地区の生コン価格（ベースサイズ）を15,800円から18,800円への値上げとスランプ間の値差の廃止を表明した。ここ数年上伸を続けている大阪地区の生コンについては、4月に表明した値上げが今後どういう成り行きを示すか注視している。
審議 4	新潟地区の生コンが他地区に比べて安いのはなぜか。	需要が減っていくなかで員外社との競争が活発化したためである。その過程で協組に加盟していた何社かは協組から脱退し、現在では員外社の出荷量が組合員よりも多い状況となっている。
審議 5	生コンのように協同組合を設立している資材が他にもあるのか。	地区によっては、コンクリート製品、砂利、碎石、セメントなどで協同組合を設立し、共同販売を行っている場合がある。また、中小の建設会社が資材を共同購入する事業共同組合というものもある。
審議 6	仮設・土木用木材のバタ角（杉材）が上伸した理由は、バイオマス需要と関連性はあるのか。	最近の仮設・土木用木材の値上がりの背景は、全国的に行われているバイオマス発電向けに木材を取られてしまい、土木・仮設用に回ってこないことが要因の1つである。
審議 7	ガスの価格が変動するのは珍しいのではないか。	先月も、東京、長野、静岡、名古屋地区で上伸した。
審議 8	主要建設資材の需給及び価格動向において、ビニル絶縁電線は「今後も大型物件など旺盛な需要が続く」とあるが、具体的には何を指すのか。	再開発関連工事を指す。再開発工事では、躯体工事から電線や配管など設備工事に工程が移ってきており、これを背景に電線や配管などの需要が多くなっている。
審議結果	「建設物価」6月号、「Web建設物価」6月号、「推進工事用機械器具等基礎価格表」の価格動向に問題はなかった。	

以上